

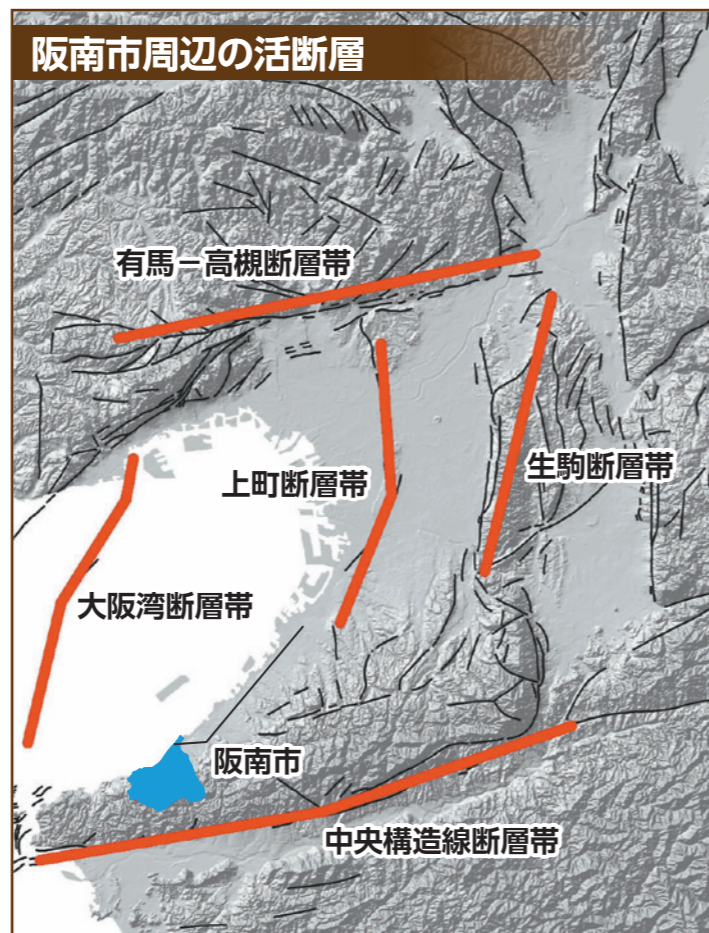


阪南市で起こり得る地震は

阪南市周辺には、市を取り囲むようにいくつもの活断層が存在しています。これらの活断層が活動すると、大きな地震が発生することが明らかにされています。

とりわけ、中央構造線断層帯地震は、大きなエネルギーをもった地震が発生することが国や大阪府の調査で明らかにされています。

また、四国沖から東海沖の海底約4,000mにある溝（トラフ）は、南海トラフと呼ばれており、この南海トラフ沿いでは、2つのプレートが衝突しているため、非常に活発な地震発生帯となっています。南海トラフについては、これまで様々な調査が行われてきましたが、東日本大震災以降の国の調査において、新たに震源域が見直され、極めて大きな地震を引き起こす可能性があることが明らかにされました。



阪南市での地震災害の特徴は

平成23年3月に発生した東日本大震災でも明らかにされたように、地震は、ひとたび発生すれば、さまざまな被害を同時にもたらす極めておそろしい災害です。

特に南海トラフ巨大地震発生時には、大きな津波の襲来による被害も想定されています。

南海トラフ巨大地震によって発生する災害や被害の種類

阪南市の地震の被害想定（大阪府の調査より）

想定地震	全壊建物	半壊建物	死者数	負傷者数	避難所生活者数
中央構造線断層帯地震	859棟	1,183棟	6人	215人	1,676人
南海トラフ巨大地震	1,697棟	4,119棟	290人	1,060人	6,667人

共通編

風水害編

地震災害編

防災からの備え

共通編

風水害編

地震災害編

防災からの備え